ミストウカ様

5号 9G

オ二頁 三段ノ

一行二十二字・一段五十行 八ポルビ付

随筆

表罫

ウラ罫

若い人達

2号

新居好子

4号

一しきり騒いだのち、ある人は思ひ〳〵にくつろいだ。お行儀悪く机に腰かけてゐる人もあつたて、籐椅子に足を組んでゐる人も、そしてあとの二人は横~~着~~坐りにしてゐた。日本茶で甘納豆をつまみながら、外面には冷たい風が吹いてゐるに相違ないのだが、此の室には、放

オール女性ロ印

右川

言が賑やかに乱れ飛ぶ。

若い元気な人達ばかりである。

「創作する事は苦しい事だらうと思ふわ、何でも思つたやうに書けて。」

「いやな事だわ。絵を画く方がいゝわ。」

読書や創作に関心をもつてゐる私が抗議を云ふ。すると閨秀画家が反駁するのだ。

「詰らないわよ。一年に一度は落選の憂目に逢ふし。気に入らなければ塗り潰すし。」

「創作なんて毎日落選みたいな悲観と憂鬱な